

土壌診断書の見方


JA名	支所	まず、分析値を確認し、項目の過不足を確認しましょう。		pHが適正でないと、作物に欠乏障害が発生しやすくなります。			
作物名	ほ場名						
分析区分	一般分析						
分析項目	基準値		分析値	過不足	改善値	判定	コメント
	最低	最高					
PH (H2O)	6.0	~ 6.8	↓ 5.53		6.39	やや低い	PHが低いので石灰資材を通常より多めに施用し矯正してください。
CEC (me)	20.0	~ 23.0	↑ 24			適性	...
EC (ms/cm)	0.0	~ 0.3	→ 0.11		0.11	適正範囲	...
石灰 (mg/100g)	305	~ 508	→ 352.5	-68	421	適正範囲	...
苦土 (mg/100g)	48	~ 121	→ 40.7	-42	83	不足	苦土が...
加里 (mg/100g)	34	~ 68	→ 45.7	-11	57	適正範囲	石灰と苦...
有効態リン酸 (mg/100g)	50	~ 100	↓ 29.7	-60	89	不足	リン酸が...
硝酸態窒素 (mg/100g)	0.7	~ 3.5	2.9			-	元肥は通常通り施用してください。
アンモニア態窒素 (mg/100g)	0.3	~ 1.5	2.5			-	
りん酸吸収係数	900	~ 1200	1,642			固定力高い	
腐植 (%)	3	%以上	5.7			富む	水田後作のにんにくは、特にりん酸不足となります。
石灰苦土当量比	3	~ 6	↑ 6.2		3.6	過剰	
苦土加里当量比	2	~ 4	→ 2.1		3.4	適正範囲	
塩基バランス		基準値	分析値	改善値			
(%)	塩基飽和度	70.0 ~ 90.0	↓ 64.5		84.1	不足	石灰・苦土・加里はそれぞれバランスをとる必要があります。
	石灰飽和度	45.0 ~ 75.0	→ 52.0		62.1	適正範囲	
	苦土飽和度	10.0 ~ 25.0	↓ 8.4		17.1	不足	
	加里飽和度	3.0 ~ 6.0	→ 4.0		5.0	適正範囲	
微量要素 (ppm)		基準値(参考値)	分析値				
	ホウ素 (B)	0.7 ~ 2.5	0.3	-0.4	0.7		過剰な要素があるので、ミネラル資材の投入は控えましょう。
	マンガン (Mn)	7 ~ 20	12.8	5.8	7.0		
	銅 (Cu)	1 ~ 3.5	0.3	-0.7	1.0		
	亜鉛 (Zn)	10 ~ 40	3.4	-6.6	10.0		
	鉄 (Fe)	15 ~ 100	8.1	-7.0	15.0		
	モリブデン (Mo)	0.5 ~ 1	0.1	-0.4	0.5		
物理性				サブソイラー等で深耕、耕盤を破壊し、物理性の改善(保水・排水対策)をしてください。			

施肥設計案(10a)


【基準基肥肥料】	施用量	施用袋数	成分量(kg)		
			窒素	リン酸	カリ
にんにくエース V	140kg	7袋	20	22	14
...		袋			
【分析結果に基づく施肥設計】		袋			

※上段肥料銘柄に対しての減肥案


基肥1




基肥2



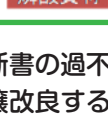
石灰資材



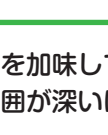
苦土資材



加里資材



磷酸資材



診断書の過不足を加味して、改良資材を投入します。土壌改良する範囲が深いほど資材の投入量は増えます。

【土壌改良資材投入量】	資材名	改良深度		成分量(kg)			
		10cm	15cm	石灰	苦土	カリ	磷酸
	石灰 M-10	200kg	300kg	68	20	0	0
	苦土 硫マゲ	0kg	0kg	0	0	0	0
	加里 硫加	0kg	0kg	0	0	0	0
	磷酸 ようりん	190kg	290kg	59	23	0	44
計				127	43	0	44